

**学校名** 鴻巣市立常光小学校  
**所在地** 鴻巣市下谷369番地  
**電話** 048-541-5739

### 1 本校の概要

本校は、児童数133名7学級の小規模校である。研究テーマ「自ら考え、ともに学び、表現することのできる児童の育成」をめあてに、国語科を中心として表現力の向上を目指す授業改善等に取り組んでいる。また、昨年度からはNIE（Newspaper in Education）実践校になり、授業や学校生活の場で、積極的に新聞を活用している。

### 2 本校の実践

#### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・その他（NIEの取組）

#### (2) 実践の概要

読書活動推進のために、学校全体で様々な取り組みを行った。

##### ア 読書タイム・読み聞かせの実施

読書の時間を確保するため、業前に「読書タイム」を位置付け、地域や学校応援団などによる読み聞かせも行った。また、学校図書館での貸出の他に「お楽しみセット」と称して、全児童に様々な分類の本3冊を配付し、常に読書に親しめるようにした。



「鴻巣読み聞かせの会」による読み聞かせ



学校図書館支援員によるブックトーク

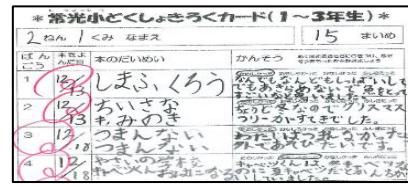
##### イ 読書の木・読書カードの活用

各学年で年間の目標冊数やページ数を定めた。掲示板に読書の木を作り、目標の半分達成者には「緑の葉」を、すべての達成者には「りんご」を貼らせた。年度末には、達成者に賞状を配付する。



学校図書館前に掲示している読書の木

記録カードには、読後の振り返りとして簡単な感想を書かせ、読書の楽しさを感じさせながら表現力を高める一助とした。



カードと賞状

#### ウ 読書月間の活動（図書委員会による読書集会）

今年度はリモートで以下の内容を実施した。

- ・新書の紹介とおすすめ本・クイズやランキング発表
  - ・新聞記事の紹介（新聞スクラップファイルより）
- #### エ 図書支援員との連携による授業の中での読書指導
- ・国語科での並行読書のすすめ
  - ・生活科や総合等での図鑑を使った調べ学習など
- #### オ セカンドブック事業

- ・市から1年生児童に毎年寄贈される読書本の活用
- カ NIEの取組

業前活動に「NIEタイム」を位置付け、気に入った新聞記事をスクラップし、感じたことや気付いたことなどを記入して、伝え合った。



昇降口には、教職員が輪番で、児童に紹介したい記事を選び掲示した。それらの記事は、図書委員会と掲示委員会の児童がスクラップし、教科等の調べ学習や授業の導入に活用したり、学校図書館で読んだりできるようにした。



ファイルはスポーツ・環境などテーマ別に10種類

### 3 成果と今後の課題

#### (1) 成果

ア 読み聞かせや新聞の活用、目標達成に向けた取組などから読書に親しむようになり、考える力や表現力が高まってきた。セカンドブック事業は、読書の楽しさにつながり、保護者からも喜ばれた。

#### (2) 課題

ア 学校図書館の貸出利用者をさらに増やす手立てを考え、読書の質を高めていきたい。

#### (3) おわりに

児童が、読書を通して表現力を高め、心豊かに成長するよう今後も読書の推進に力を入れていきたい。